

第 45 回 武庫川流域委員会 議事骨子

1 議事録及び議事骨子の確認

松本委員長と加藤委員が、議事録及び議事骨子の確認を行う。

2 運営委員会報告等

(1) 「第 55 回運営委員会(6 月 22 日開催)」の協議状況について、松本委員長から説明があった。

(2) パブリック・コメントの取扱い(原則、整備計画のパブリック・コメントを実施しない)について、県から説明があり、協議の結果、委員会の意見を以下の 3 点に集約した。

パブリック・コメントの手続きの変更について、変更した時点で委員会に報告がなかったことは、極めて遺憾で、県に強く反省を求める。

全県的に行われたパブリック・コメントについての検証の経緯と結果について、次回流域委員会(7 月 10 日開催)で報告すること。

武庫川の整備計画についてのパブリック・コメントの考え方について、次回流域委員会で報告すること。

(3) 6 月末に県へ報告する「8 月提言骨格案」について、松本委員長から報告があった。

3 環境ワーキンググループの提言

「環境ワーキンググループの提言」について、村岡主査、浅見、伊藤、岡田委員から説明があり、今後、各委員から出た意見を参考にして、ワーキンググループで加筆修正していくこととなった。

4 総合治水対策の検討

(1) 第 43 回総合治水ワーキングチーム会議の報告

「第 43 回総合治水ワーキングチーム会議協議結果」について、松本委員長から報告があった。

(2) 千叅ダムの治水活用について

「千叅ダムの治水活用に関する検討資料」について、河川管理者から説明があり、今後、さらに総合治水ワーキングチーム会議で協議することとなった。

(3) 新規ダム建設の環境影響検討について

各委員から意見書の説明があり、これに対して、河川管理者から現段階での検討内容を踏まえた回答があった。

各委員から意見が出され、以下のとおり集約した。

1) 説明された資料は、現時点で整備計画における新規ダムの可否を判断する材料としては不十分である。

2) 委員会としては、次期検討時の課題を整理する資料として取り扱うこととし、提言書に位置付けるため、各委員は見解(問題点・課題等)を再度とりまとめる。

5 その他(今後の開催日程)

・第 46 回委員会は、平成 18 年 7 月 10 日(月)13:30 から、尼崎市中小企業センターで開催する。